

平成26年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 施設名 | 大和市桜森児童館 |
| 指定管理者 | 大和市コミュニティセンター桜森会館管理運営委員会 会長 中村 晴隆 |
| 指定期間 | 平成26年4月1日～平成29年3月31日 |

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

| 児童館名 | 幼児 | 小学生 | 中学生 | その他 (高校生付 添父母等) | 合計 | 1日平均 (人) | 開館日数 |
|------|-----|-------|-----|-----------------------|-------|-------------|------|
| 桜森 | 158 | 5,133 | 324 | 213 | 5,828 | 18.9 | 308 |

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

| 事業名 | 開催期間 | 参加者数 |
|---------------------------|-------|------|
| 春の工作（牛乳パックの小物入れ） | 4/11～ | 46人 |
| 母の日プレゼント工作（タオルハンカチのクマ人形） | 4/29～ | 68人 |
| 父の日プレゼント工作（ミサンガ） | 6/5～ | 80人 |
| 七夕の集い（紙芝居、短冊作り、スイカ割り） | 7/5 | 61人 |
| 敬老の日のプレゼント工作（一輪挿し） | 8/13～ | 75人 |
| 敬老の日のプレゼント工作（一輪挿し） | 9/6～ | 61人 |
| コミセン祭り参加（プラバン工作・映画・ビンゴ大会） | 10/19 | 117人 |
| ふれあい広場（くるくるレインボー） | 11/2 | 90人 |
| 防災訓練 | 11/22 | 25人 |
| クリスマス会（手品・ビンゴなど） | 12/13 | 82人 |
| お正月遊び（こま作り・ビニール凧など） | 1/9～ | 8人 |
| 雛人形作り | 2/13～ | 31人 |
| ひな祭り（パンケーキ作り） | 3/3 | 37人 |
| その他工作 | 通年 | 52人 |

2. 収支決算概要

(単位：円)

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------------|-----------|---|-----------|
| 指定管理料 (市が指定管理者に払った金額) | 2,514,000 | 雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額) | 2,301,900 |
| 雑入 (預金利息等) | 0 | 事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額) | 151,714 |
| 収入計 (①) | 2,514,000 | 支出計 (②) | 2,453,614 |
| 収支決算 | 60,386 | | |

※収支差額 60,386 円は平成 27 年度特別会計に繰り入れます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 27 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 26 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

| |
|---|
| <p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の使用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 ・利用者アンケートでは、スタッフの対応については、回答者の 86.0% (前年：100.0%) が「よい」～「ふつう」との結果が出ており、前年から減少がみられるため、今後改善策の検討をしてください。一方で、週に 1 回以上児童館に来る方が回答者の 50.0% (前年：30.0%) との結果について、リピート率を大きく向上させたことは高く評価します。 ・児童館利用の人数が前年度比 133.8% と増加したことは高く評価します。今後も利用者増加に向けた取り組みを図ってください。 ・アンケートの回収率についても、前年度に引き続き 100.0% を維持している点について評価します。今後も利用者の意見を聴取し運営の参考としてください。 |
| <p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・特に男女ともに興味をもてる工作を用意するように努めるほか、短時間で作成できるように工程を工夫したことで多くの子どもたちに創る楽しみを伝えることができた点は高く評価します。 ・また、継続的に共同制作を取り入れ、子どもたち同士が力を併せてひとつのものを作る喜びを感じてもらおうと努めている点についても評価します。 ・今後も他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、更なる地域での青少年健全育成と利用者の増加を図ってください。 |
| <p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。 |
| <p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。 |